



不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

10th anniversary



京都・観光文化検定試験 京都商工会議所

第10回 京都検定は 12月8日(日)

お首地蔵の怪

北野白梅町交差点近く、聖ヨゼフ修道院の東に不思議なお地蔵様がおられます。その名も「お首地蔵」。恐ろしいお名前です。

ここは天神さんや平野神社、金閣寺などへの分かれ道で、江戸時代、参詣客を狙った辻斬りが多発していました。村人が相談してお地蔵様を刻み、お祈りしたところ辻斬りが止まりました。しかしお地蔵様の体は三段にばっさり切られていたのです。村人は



内部。立っている二体がお首地蔵



二体とも首を落とされています



膝あたりでばっさり……

身代わりになってくれたお地蔵様の体を継ぎ、いよいよ厚く信仰しました。三休あつたうち一休は乞われて下京に移り現在は二休。かつては清水の宮大工が寄進したお首地蔵だけのお堂でしたが、今は付近にあった多数の石仏と大きなお堂に納められ、毎年の地蔵盆では、まるでそんな過去などなかったかのようなようです。日頃管理をされている賀集さん、来歴に詳しい加藤道子さんにお堂を開け

ていただきました。三つに分かれた痛ましい傷跡と、それが継がれて甦り、子供たちの笑顔に包まれるお姿を拝すると、神仏の尊さと有り難さを思わずにはおられません。お首地蔵の怪。それは決して「怪」ではなく、自らの身をもって辻斬りに示した「戒」であり、その胸のすくような行為の「快」であり、共に生きる人と神仏のあり方への「解」なのかも知れません。

(京都学園大学非常勤准教授堤勇二)



地蔵堂外観 右上に謂れの額が掲げられています。